

加美町

小泉の水祝儀



加美町宮崎小泉集落に伝わる小泉の水祝儀は、旧暦2月2日頃に行う風俗慣習で、新夫婦を地域へ迎え入れ、各家の火伏せや家内安全、安産を祈る行事です。

儀式は13時半頃から開始し、神事後、前年結婚した夫婦、又は転入して1年経過した夫婦を迎え入れる儀式に入ります。参加者が手を取り合って作った「鳥居」の下を嫁が這い進んで祭壇に拝礼すると共に、婿の顔を濡らした手ぬぐいで拭く「面洗い」の儀式を行うことで、かつては契約講への加入を認めました。その後、参加者全員の額に墨で「水」の字を書いてお清めし、厄年の者や志願者が道祖神を背負って胴上げされることで厄を祓います。直会の後、5人程度の組と



なって集落の各戸を廻り、屋外に用意された水をひしゃくで屋根にかけて火伏せの儀式を行います。



かつて水祝儀は全国各地で実施されていましたが、現在はその殆どが廃れてしまいました。ほぼ旧態のまま伝承されている小泉の水祝儀は、大変貴重な行事として宮城県指定無形民俗文化財に指定されています。